



ルーテル 藤が丘だより

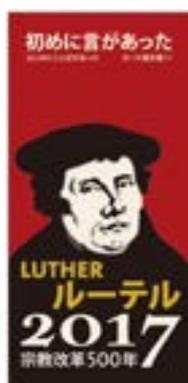
ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 牧師 佐藤和宏
tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp
発行 月報編集委員会 発行日 2017年11月26日 No. 43



1517-2017
宗教改革 500 年



photo by M. Sugiura



だから、目を覚ましていなさい。
あなたがたは、その日、その時を
知らないのだから。

マタイによる福音書 25章13節



シリーズ説教

『愛は始める』

牧師 佐藤和宏

マタイ25章1節～13節

ルターは1515年から翌年にかけて行った、「ローマ書講義」において、ローマの信徒への手紙13章11節にある次の言葉を取り上げています。

「更に、あなたがたは今がどんな時であるかを知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時が既に来ています。(ローマ13章11節)」

この箇所を解説してルターは次のように書いています。「適切にも、使徒はキリスト者に対し、目覚めよ、と言って、勧めている。なぜなら彼らは目覚めていないならキリスト者ではなく、神の道に立ち止まっていることは後退していることだからである。前進するとは、つまり絶えず新たに開始することである。」

「目を覚ましていなさい」と呼びかけられているのが、恵みの主に目を向けて生きよということであるなら、この恵みの主によって絶えず新たに生き始めることがキリスト者であるの

です。「目覚める」と訳されているギリシア語が、「立ち上がる」「復活する」という意味を持つ言葉の派生語であることから、目覚めていることがキリスト者であり、絶えず新たに始めることであるという意味が明らかにされるでしょう。つまり「目を覚ましていなさい」という呼びかけは、今の在り方から新しく立ち上がるようにと語りかけていることがわかるのです。

ルターが目覚めていないならキリスト者ではないと言い、目覚めており、絶えず新たに始める者がキリスト者であると云っているのはこのことなのです。そして、それこそ神の支配の中で生かされるということにほかなりません。

今日の福音の日課に登場するおとめたちの愚かさや賢さを分ける「予備の油」について思い巡らせていましたら、ふと創世記2章にある、「命の息を吹き入れられた。こうして人は生きる者となった」という言葉を思い起こしたのでした。先日、聖書研究の時間に、ちょうど私たち人間が造られた場面に触れようと、創世記2章7節を開いていたからでした。それは次のように記されています。「主

なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」

聖書が「その鼻に命の息を吹き入れられた」「人はこうして生きる者となった」と言うとき、それは決して私たち人間の側に何ができるか、何を持っているかは問われていないのです。これが神に生かされるということなのです。「命の息を吹き入れられる」神によって、私たちは「新たに生きる」キリスト者とされるのです。

絶えず「命の息を吹き入れられて」生きる、繰り返してキリスト者となる、これが今日のたとえの言う「予備の油」が意味することになります。そして、予備の油を満たすのが主なる神ご自身であるのなら、私たちは自分の壺が空であることを絶えず確認し、それを満たしてほしいと繰り返して願って生きるのです。これが目を覚ましている、すなわちキリスト者の生き方なのです。

しかし聖書によると、ゲッセマネで「目を覚ましていなさい」と、十字架の死を前にした主イエスに言われたのですが、弟子たちは眠ってしまい

ました。おとめたちも共に眠ってしまいましたし、私たちも目覚めていて、絶えず新たに始めることができな一人ひとりではありません。そのように弱い私たちを深く憐れまれる神は、恵みのうちに空となった壺に予備の油を絶えず満たしてくださいるので。この愛は、私たちに命の息を吹き込み、私たちの空になった壺を満たし、私たちを目覚めさせ、新たに生き始めさせる力となって注がれるのです。

日々の生活の中で空っぽになりつつある壺をみて、深く憐れまれる主が、私たちを満たしてください。それがこの礼拝の場にほかなりません。ルーテル教会では、礼拝は神が私たちに奉仕してくださいと理屈されています。この礼拝の場で神の愛の奉仕を繰り返していただき、御言葉と聖霊の交わり、そして祝福を受け、私たちは週の初めの日の礼拝のたびに新しくされるのです。

「目を覚ましていなさい」と、一年の終わりが押し迫る中で呼びかけられています。空っぽになりつつあるそれぞれの壺を満たしていただいて、再び新しくされてまいりましょう。

(聖霊降臨後第24主日)

■ザアカイ

○谷○葉

徴税人は街の嫌われ者でした。そんな徴税人の頭で、お金持ちのザアカイは町一番の嫌われ者だった事でしよう。そんなザアカイですから、人の目も気になっただろうにそんな余裕もなく、子供みたいに木に登りました。その先にいるイエスが見たかったからです。

周りの目を気にする余裕もなくイエスを見たいってどんな感じなのでしょう。今のところ、「武蔵境にイエスが来てるらしい」なんて噂は聞かないですから、経験のしようもないですが、人の目を気にしないというのが難



■「こども神学校」でルター役となり、ポーズをとる○葉さん。

しい事だというのは、なんとなくわかります。

私はこの学校に入ってよく、友達に「クリスチャンぽくないよね」と言われます。私がどう写っているのかわからないですし、クリスチャンにどんなイメージを抱いているのかもわかりませんが、結構言われます。髪が赤いところとか、授業に遅れる所とかをみていうのか、それとも私の知らない心の奥底を見抜かれているのか。いづれにしろ、これも周りの目です。

こんなことを気にして不安になってしまふ私は、周りから見られる自分のイメージと自分が思う自分のイメージ、自分になりたい自分のイメージ、この差に一生苦しむのでしょうか。

周りの目を気にもとめずイエスを見たザアカイはイエスに救われました。救われたのは「家に泊めて」と言われたこの瞬間でしょう。家に泊まるというのは当時とても重大な事でした。町の人たちも驚いています。まさとザアカイが一番驚いたはず。まさか、神に背いた嫌われ者の自分が、

イエスにとって、周りのイメージとか自分のイメージとか自分がなり

たい自分とか、そんなの全然気にしてなくて、「迷ってる人がいたら救う」。ただ、それだけなんだと思います。

私はクリスチャンです。他の誰かがそう見てくれるから？自分がそう思うと思うから？ そうではなく、神が私に気づかせたからです。「人の子は、失われた人を捜して救うために来た」。本当にそのとおりなんです。

ピンときていない人たちに向けていうなら、例えば心の中に家族や友人、恋人はいませんか？ 絶対に救ってくれる！ とは思えないかもしれないけど、その人たちの存在があるから「色々あつたけど、なんだかんだ生きてるな」と思うと思います。そう思えるあなたなら「よく頑張った私」って思うんだと思います。何かに向かって「ありがとう」って思うんだと思います。

その何かが、神なのか、友人なのか家族なのか恋人なのか。それをなんと呼ぶのか。それは人それぞれだけど、私にとっては神。

「ありがとう」って思えるようにしてくれたのが神様。私に友人を家族を恋人を与えてくれるのが神様です。あなたにも、あなたを見てくれる人がい

るなら「ありがとう」と言ってく下さい。その「ありがとう」は神にも届いています。

もし、見てくれる人なんていないよって思う人がいたら、ザアカイのように自分で見に行ってみてもいいかもしれない。求めてもいいかもしれないです。必ず、みてくれる存在に気づけると思っています。何より神様は見えないようできて実はしっかり私達のことを見守っていてくれてます。私も私をちゃんと見てくれる神様に「ありがとう」と言いたいです。

お祈りします。

愛する天のお父様。今日、みんなで礼拝を持たせた事、あなたの愛を分かち合えた事を感じます。あなたが愛してくれるから、頑張れます。あなたが愛してくれるから、楽しめます。世の問題だらけ。自分の中も問題だらけ。そんな私たちですが、主がまた私たちを助け、導き、守り、支えてください。いつもありがとう。このお祈りをみんなの心の中のお祈りと合わせ、主イエスキリストのお名前を通して御前にお捧げします。

